

## BPC ラウンドテーブル 2016 ホーチミン 報告書

大阪市と大阪ビジネスパートナー都市交流協議会はホーチミン市人民委員会との共催で2016年9月7日(水)午後、ホーチミン市内のレックスホテル サイゴンにて「BPC ラウンドテーブル 2016」を開催しました。

1988年以降、毎年大阪市とビジネスパートナー都市(BPC)提携を結ぶ各都市の代表が集い開催されている当会議は、今年で回を重ねること27回目となり、8都市が「裾野産業の発展と中小企業の新たな事業機会」というテーマについて各都市の取り組みや課題を発表し、活発な意見交換が行われました。

当会議の併催事業として、同日午前中には、ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)の主催による「ホーチミン市投資・貿易セミナー」が開催され、ホーチミン市のビジネス概況や貿易・投資環境についてのプレゼンテーションが行われたのちに、現在開発ラッシュとなっている同市の都市インフラ(メトロ、モノレール、水道等)やハイテク産業及びIT産業に特化した工業団地の今後の展開に関する説明やBPC各都市への事業協力要請がありました。また、ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)の協力の下、同時期に派遣した大阪経済ミッション参加企業とベトナム現地企業との「企業個別商談会」を別会場にて開催しました。

夕刻には、両市の親睦やビジネス交流を図ることを目的に、大阪市の主催による「BPC ラウンドテーブル ネットワーキングレセプション」が開催され、BPC ラウンドテーブル参加者をはじめ、ホーチミン市人民委員会関係者、関連団体関係者、大阪、メルボルンからの経済ミッション団、ベトナム現地企業・現地在外公館・経済団体関係者など110名が出席し、会場では活発な交流が行われました。

尚、当会議の前日にはホーチミン市人民委員会より「BPC ウェルカムレセプション」の招待を受け、ホーチミン市人民委員会、関連団体関係者との交流を図りました。

### 【BPC ラウンドテーブル 2016 全体日程 (併催事業を含む)】

9月6日(火)	18:00~20:30	BPC ウェルカムレセプション (ホーチミン市人民委員会主催)
9月7日(水)	9:30~11:30	ホーチミン市投資貿易促進セミナー (ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)主催)
	12:00~13:30	BPC 昼食交流会 (ホーチミン市人民委員会主催)
	13:30~16:30	・BPC ラウンドテーブル会議 ・企業個別商談会
	18:00~20:00	BPC ラウンド・テーブルレセプション(大阪市主催)
9月8日(木)	8:00~11:00	オプション ツアー (ベトナム裾野産業展(VSI EXPO))視察

## 【BPC ラウンドテーブル 2016 開催概要】

開催日時：2016年9月7日（水）13：30～16：30

会 場：REX Hotel Saigon（レックスホテル サイゴン）2階 会議室 Tulip Room

主 催：大阪市、大阪ビジネスパートナー都市交流協議会、ホーチミン市人民委員会

テ ー マ：裾野産業の発展と中小企業の新たな事業機会

議 長：ホーチミン市人民委員会 委員長 グエン・タイン・フォン 氏

司 会：ホーチミン市人民委員会 外交サービスセンター長（Foreign Service Center）

プログラム：

13:30-13:45	開会 ホーチミン市人民委員会委員長、大阪市長、提携都市出席者の紹介
13:45-13:50	開会挨拶 ホーチミン市人民委員会 委員長 グエン・タイン・フォン 氏
13:50-13:55	歓迎挨拶 大阪市長 吉村 洋文 氏
13:55-14:00	司会による進行説明
14:00-14:10	<u>ホーチミン市 プレゼンテーション</u> ホーチミン市人民委員会 産業通商局長 ファム・タイン・キエン 氏
14:10-14:20	<u>香港 プレゼンテーション</u> 香港貿易発展局（ホーチミン事務所）インドシナ地域担当ディレクター ティナ・ファン 氏
14:20-14:30	<u>シンガポール プレゼンテーション</u> シンガポール国際企業庁 東南アジアグループ、ホーチミン市 センター長 コウ・チョン・ユ 氏
14:30-14:40	<u>バンコク プレゼンテーション</u> タイ商業会議所 副会頭 パイラット・ブラパチャイシリ 氏
14:40-14:50	<u>マニラ プレゼンテーション</u> フィリピン貿易産業省 外国貿易サービス公社 貿易担当 マリオ・C・タニー 氏
14:50-15:00	休憩
15:00-15:10	<u>メルボルン プレゼンテーション</u> メルボルン市 評議員、委員長（経済開発委員会）ケビン・ルーイ 氏
15:10-15:20	<u>天津 プレゼンテーション</u> 天津市商務委員会 副主任 マオ・ジンソン 氏
15:20-15:30	<u>大阪市 プレゼンテーション①</u> 経済戦略局長 井上 雅之 氏
15:30-15:40	<u>大阪市 プレゼンテーション②</u> 建設局 下水道部水環境担当部長（大阪 水・環境ソリューション機構 幹事長）佐崎 俊治 氏
15:40-16:00	フリーディスカッション
16:00-16:05	大阪ビジネスパートナー都市交流協議会事務局からのアナウンス
16:05-16:15	写真撮影（集合写真） 閉会

出席者：(8都市、32名)

	都市	団体名	役職	名前
1	香港 Hong Kong	香港貿易発展局 ホーチミン事務所 Hong Kong Trade Development Council, Ho Chi Minh Office	インドシナ地域担当ディレクター Director, Indochina	ティナ・ファン Ms. Tina Phan
			役員補佐 Executive Assistant	グエン・クオック・ウイ Mr. Nguyen Quoc Uy
2	シンガポール Singapore	シンガポール国際企業庁 International Enterprise Singapore	東南アジアグループ、 ホーチミン事務所 センター長 Centre Director, Ho Chi Minh City, Southeast Asia Group	コウ・チョン・ユ Ms. Koh Chong Yu
3	バンコク Bangkok	タイ商業会議所 Thai Chamber of Commerce and Board of Trade of Thailand	副会頭 Vice Chairman	パイラット・ブラパチャイシリ Mr. Phairush Burapachaisri
4	マニラ Manila	フィリピン貿易産業省 外国貿易サービス公社 Department of Trade & Industry Philippines, Foreign Trade Service Corps	貿易担当 Trade Service Officer VI	マリオ・C・タニー Mr. Mario C. Tani
5	ホーチミン Ho Chi Minh	ホーチミン市人民委員会 People's Committee of Ho Chi Minh City	委員長 (市長) Chairman	グエン・タイン・フォン Mr. Nguyen Thanh Phong
			産業通商局 局長 Director, Department of Industry and Trade	ファム・タイン・キエン Mr. Pham Thanh Kien
			産業通商局 副局長 Deputy Director, Department of Industry and Trade	トラン・ビン・ニュン Dr. Tran Vinh Nhung
			産業通商局 部長 Chief, Department of Industry and Trade	グエン・チ・ゴック Ms. Nguyen Thi Ngoc
			外務局 副局長 Deputy Director, Department of Foreign Affairs	ドアン・トゥアン・リン Mr. Doan Tuan Linh
			外務局 部長 Chief, Department of Foreign Affairs	トラン・フオック・アン Mr. Tran Phuoc Anh
			投資計画局 副局長 Deputy Director, Department of Planning and Investment	ス・ゴック・アン Mr. Su Ngoc Anh
			司会/モデレーター MC/Moderator	レ・チュオン・デュイ Le Truong Duy
6	メルボルン Melbourne	メルボルン市 City of Melbourne	評議員、委員長 (経済開発委員会) Councillor Kevin Louey, Chair of Economic Development Portfolio	ケビン・ルーイ Cr. Kevin Louey
			事業開発員 Business Development Officer	タシア・カーリス Ms Tasia Karlis
7	天津 Tianjin	天津市商務委員会 Tianjin Commission of Commerce	副主任 Deputy Director-General	マオ・ジンソン Mr. Mao Jinsong
			処長、海外投資促進・開発区 Director, Department of Foreign Investment Promotion & Development Zones Administration	ザン・ウェンガン Mr. Zhang Wengang
			巡視員 海外投資促進・開発区 Director-level Researcher, Department of Foreign Investment Promotion & Development Zones Administration	リ・チェン Mr. Li Cheng
			処長、天津市津南経済開発区 Director, Administration of Tianjin Jinnan Economic Development Zone	ドゥ・チェンソン Mr. Du Quansheng
			処長補佐、天津市津南経済開発区 Director Assistant, Administration of Tianjin Jinnan Economic Development Zone	ザオ・ハイリン Ms. Zhao Hailing

			部門長、天津市津南区行政執行局 Division Chief, Tianjin Jinnan Comprehensive Administration Execution Bureau	シュ・ホンウェイ Mr. Xu Hongwei
8	大阪 Osaka	大阪市 City of Osaka	大阪市長 Mayor	吉村 洋文 Mr. Hirofumi Yoshimura
			経済戦略局長 Director General, Economic Strategy Bureau	井上 雅之 Mr. Masayuki Inoue
			建設局下水道部水環境担当部長 (大阪水・環境ソリューション機構 幹事長) Director for Water and Environment, Public Work Bureau (Secretary- General, Osaka Water and Environment Solutions Association)	佐崎 俊治 Mr. Toshiharu Sasaki
			環境局 環境施策部長 Director, Environmental Policy Division, Environment Bureau	野原 賢一郎 Mr. Kenichiro Nohara
	大阪ビジネスパートナー都市交流協議会 Osaka Business Partner City Council	事務局長 Secretary General	原 法康 Mr. Noriyasu Hara	
大阪事務局 Osaka Secretariat	大阪市 City of Osaka	経済戦略局 立地推進部 都市間交流担当課長 Manager for International Relation, Economic Strategy Bureau	松本 孝史 Mr. Takashi Matsumoto	
		環境局 環境施策部 環境施策課 都市 間協力担当課長代理 Assistant Manager for International Cooperation, Environment Bureau	三原 眞 Mr. Makoto Mihara	
		政策企画室市長秘書 Secretary to the Mayor	森田 俊作 Mr. Shunsaku Morita	
		経済戦略局 立地推進部 都市間交流担 当係長 Liaison Officer for International Relations, Economic Strategy Bureau	西岡 加奈代 Ms. Kanayo Nishioka	
		一般財団法人大阪国際経済振興セ ンター (IBPC 大阪) Osaka International Business Promotion Center	森 健二郎 Mr. Kenjiro Mori	
		大阪ビジネスパートナー都市交流協議会 Osaka Business Partner City Council	国際課経済交流プロジェクト 主任 Chief, International Affairs Dept. International Affairs Dept, IBPC Osaka	在田 昌弘 Mr. Masahiro Arita

大阪の発言・説明骨子：

発言者：大阪市長 吉村 洋文 氏（歓迎挨拶）

- 最初に、今回のラウンドテーブルの開催及び諸行事の開催にあたり、多大なるご尽力をいただいた、ホーチミン市人民委員会産業通商局並びにご関係の皆様へ、心より感謝を申し上げます。
- アジア・太平洋地域の主要な経済都市である BPC の皆様には、日頃より、このネットワークを軸に、都市相互の経済交流の促進にご尽力いただき、感謝申し上げます。



- アセアンにおいては、アセアン経済共同体の創設及び経済統合により、巨大な一大マーケットが誕生し、アジア・太平洋地域の経済が新たな局面を迎えており、この地域の重要性が高まるなか、今後ますますこのネットワークの強化、活用が求められるものと考えます。
- 後ほど、「裾野産業の発展と中小企業の新たな事業機会」について、各都市の取組の紹介や意見交換が行われることになっているが、多様な経済的背景を持つ BPC が議論を交わすことで、有意義な意見交換の場となり、相互の発展につながっていくことを期待している。
- 今後、このネットワークがより強固なものとなり、BPC 間の民間レベルでの経済交流がより一層活性化していくことを期待している。

発表者：経済戦略局長 井上 雅之 氏

演 題：大阪の中小企業と海外展開について

- 大阪のビジネス環境（アクセスの利便性、巨大なマーケット）について説明
- 大阪の中小企業の活躍と直面する課題、以下の支援施策について説明
  - ・ 中小企業の経営基盤強化
  - ・ 創業支援、
  - ・ 金融支援
  - ・ ものづくりの技術・製品開発
  - ・ 人材育成・確保等支援
  - ・ 新事業展開や成長産業分野への参入促進
  - ・ 国際ビジネス機会の提供、イノベーション創出支援、
- 大阪の中小企業の海外展開事例と支援の取組みについて説明



発表者：建設局下水道部水環境担当部長（大阪水・環境ソリューション機構 幹事長）佐崎 俊治 氏

演 題：水・環境ビジネスパートナーとしての大阪市

- 大阪市のまちづくりについて、交通・物流インフラ、上下水道インフラ、河川整備、ごみ処理、そして港湾施設などを説明。
- 大阪の急速な経済成長にともなう環境問題に対し、大阪市が関西の民間企業と共に取り組んできた水・環境事業における技術向上、成果について説明。
- 大阪市が、上水道、下水道、そして廃棄物・環境の3つの分野において提供可能なソリューションについて説明。
- 官民連携による水・環境ビジネスの推進にあたり設立された「大阪水・環境ソリ



ューション機構」と以下の4つの活動内容について説明。

- ・海外現地調査
- ・プロモーション活動
- ・現地セミナー
- ・人材育成のための海外から日本への研修生の受入

各都市の発言・説明骨子：

発言者：ホーチミン市人民委員会 委員長 グエン・ティン・フォン 氏（開会挨拶）

- BPC ラウンドテーブルにご参加いただいた、吉村市長、ビジネスパートナー各都市の代表者を心より歓迎する。
- ホーチミン市は1997年にビジネスパートナー都市のメンバーとなり、これまで常にBPCの活動に貢献したいと考えてきたが、今回こういう形で、大阪ビジネスパートナー都市交流協議会に協力できることを嬉しく思う。
- アジアの経済統合が急速に進む中、相互の経済協力、発展を目的にこのラウンドテーブル会議が行われることは非常に意義がある。
- これより「裾野産業の発展と中小企業の新たな事業機会」をテーマにホーチミン市の取り組み、そして午後からの商談会で裾野産業関連企業、中小企業を紹介させていただくが、今後地元の企業とのパートナーシップを深め、事業機会を広めて行けるよう、皆様の協力をお願いしたい。



発言者：ホーチミン市人民委員会 産業通商局 局長 ファム・ティン・キエン 氏

- 都市レベルで競争力を高めることは重要であり、そのために、各都市の投資案件を共有し、つながりを増やしていくために、このビジネスパートナー都市のネットワークを利用していただけるとは喜ばしいことである。
- ホーチミン市内の90%が中小企業であり、各社が持つ潜在能力を發揮できるまでには成長しておらず、その理由には以下の制約が挙げられる。
  - ・原料を輸入に頼っていることによるコスト高
  - ・技術や設備が時代遅れ
  - ・企業間の製造過程でのつながりの低さ
  - ・企業の現地化が進まないために、市場とのつながりが無い。
  - ・人材が育っておらず、企業の需要を満たしていない。



- 中小企業支援施策がしっかりと整備されていない。
- ホーチミン市では、機械エンジニアリング、電子、化学、食品加工、そして観光分野に可能性を見出しており、裾野産業の発展のための運営委員会を設け、中小企業の支援を進めている。
- 2020年までには工業団地などの施設を整備し、高い労働人材の開発を進め、ホーチミン市の独自の技術や知的財産を保有し、高品質な製品を開発できるよう政策を進めていきたい。
- 投資活性化策として、投資家を誘致する為のデータベース化の整備も行っており、中小企業への情報提供、人材・企業紹介など、他都市の情報も含めて、支援できる仕組みを整えている。

発言者：香港貿易発展局 ホーチミン事務所 インドシナ地域担当ディレクター ティナ・ファン 氏

- 香港には、卸売、小売、輸送、宿泊、情報通信関連分野などで 320,000 社もの中小企業が存在し、その内、小企業が占める割合は 98%を超え、民間部門における労働力の約 50%を雇用していることから、中小企業をどう発展させるかということ、香港の発展にとって非常に重要なことと捕らえている。
- 裾野産業における香港の中小企業には、繊維産業、履物産業、自動車部品および自動車アクセサリ産業、情報処理装置産業など軽工業関連の企業が多い。
- 香港政府には商務および経済発展局 (CEDB)、工業貿易署 (TID)など、中小企業のビジネスを支援する組織があり、また、香港生産力促進局、香港研究開発センター、香港デザインセンター、職業訓練局など、非政府財政保証組織による中小企業サポートも行われている。
- 香港貿易発展局としては、中小企業の国際取引における機会の創出を目的に、年間 2000 件以上ものプロモーション事業の開催を通じて、1. 新規市場の開拓、2. 正規コンタクトによる斡旋、3. 中国本土でのブランド構築、4. 最新市場展開のアップデート (情報提供)、5. 専用ワンストッププラットフォームサービスの支援を行っている。
- 起業家や中小企業向けのプロモーション事業としては、「創業日」や「国際中小企業博」を開催している。



発言者：シンガポール国際企業庁 東南アジアグループ ホーチミン事務所 センター長  
コウ・チョン・ユ 氏

- シンガポールの鍵となる産業は、金融サービス、不動産、航空宇宙、化学&エネルギー、教育、エレクトロニクス、技術サービス、環境&水、健康管理、情報通信技術、生活スタイル、医療技術、製薬&バイオテクノロジー、精密技術、専門サービス、輸送&物流が挙げられる。
- 国内市場における技術、サービスの向上に注力してきたが、それを国外にどう輸出するのかという点も併せて考えてきた。

例えば、水再生利用・環境改善技術、輸送&物流技術・サービス、不動産、エネルギー（石油）精密技術（自動車、航空宇宙、医療分野）などがあり、海外での実績も数多い。

- シンガポール国際企業庁はシンガポール通商産業省傘下の組織で、シンガポールの技術やサービスを国外に輸出することを担当としており、グローバル拠点を通じて、シンガポール企業とかかわりがある多くの外国企業の支援を行っている。
- シンガポールとベトナムとの関係は良好であり、ベトナムでの経済交流、投資も幅広く行われており、これまでに 800 万ドルもの投資実績がある。
- 今後ベトナム国内では、TPP との兼ね合いもあり、製造業が成長すると想定しており、シンガポールの環境保護技術、天然資源の活用技術などの輸出を通じて貢献できると考えている。また、ベトナムの観光資源の潜在力を最大化する点においてもシンガポールのノウハウを活用していただけると考えている。



発言者：タイ商業会議所 副会頭 パイラット・ブラパチャイシリ 氏

- バンコクにおいて裾野産業の発展と事業機会の創出をいかに進めるかについて、交通・輸送インフラの整備が一つの大きな戦略となるが、その対象となるのが、鉄道、道路、水上交通などが挙げられ、近年、渋滞の緩和、交通利便性の向上を目的に整備が進められている。
- 中でも鉄道整備に掛かる投資額は全体投資額の 2/3 を占めており、中国やマレーアなどの近隣国を結ぶ「南部経済回廊」においてインフラを整備することで、他国との経済交流を深める事ができるという点で非常に重要なプロジェクトであると考えている。
- タイ国内では「タイ 4.0 計画」というスマートテクノロジー、スマートシティ



開発構想を掲げており、タイが世界の急速な技術革新に追いつき、持続可能な形で成長していくことを目的としている。

- 「タイ 4.0 計画」の広義のイメージとしては、無人化、遠隔操作、サービス産業における働き方の根本的改革など、これまでの重工業ベースでの考え方からまったく変わったものとなっており、その計画を進めるためにも、タイ政府は海外から多くの投資家を歓迎しており、起業支援を行う用意がある。
- 医療・福祉分野とそれに関連する観光分野（医療ツーリズム）は、今後のタイのイメージを形作って行くためにも、重要な産業として位置づけている。
- タイ商工会議所としては、バンコクに「タイ中小企業支援センター（Thailand SMEs Center）」という施設の設置を計画しており、登録されている約 10 万社ものタイの中小企業のネットワークを活用し、外国企業との橋渡し、ASEAN 域内でのビジネスコミュニティの場となるよう整備を進めている。

発言者：フィリピン貿易産業省 外国貿易サービス公社 貿易担当 マリオ・C・タニー 氏

- フィリピンは近年安定した経済成長を遂げているが、その背景には国際的な投資環境と財政基準・税金システムの整備を行ったことが功を奏しており、ロドリゴ・ドゥテルテ新大統領就任後においても、10 項目の経済発展のためのアジェンダを挙げており、特にインフラ投資に高い国家予算をつけ、今後 10 年間で如何に 7~10%の経済成長を持続させてゆくかについての展望を示している。
- フィリピン経済における強みとしては、輸出志向型企業が多い、若くて有能な労働力が豊富である、ASEAN 諸国の中心に位置するという地理的優位性、観光客や移住者向けに生活環境が整っている点が挙げられる。
- フィリピン国内では 99.6%が零細・中小企業であり、内 91.4%が零細企業にあたり、今後の発展にとって、多くの高度人材を如何に雇用するか、経済の中央集権から地方分散化、グローバル経済の環境変化への対応が重要であると考えている。
- 零細・中小企業への支援については、アジア太平洋経済協力（APEC）の枠組みで「ボラカイ行動アジェンダ」が掲げられ、ビジネス合理化の仕組み作りを提言しており、国レベルでも税制・設備投資優遇、技術系企業のスタートアップ、規制緩和、マッチング、インキュベーションなど、実際の零細・中小企業のビジネス活動をサポートしている。
- 「SLINGSHOT 2017」はアセアン諸国の起業家が一堂に集まるイベントで、参加者が各々有する技術を紹介する機会を提供している。



- 外国貿易サービス公社は東京、大阪他、世界中に事務所を置いており、フィリピン企業とのビジネスを検討する企業があれば、いつでも橋渡しを行う。

発言者：メルボルン市 評議員、委員長（経済開発委員会） ケビン・ルーイ 氏

- メルボルン市は国際的ネットワークの推進に注力しており、「メルボルン - 全世界にビジネスを展開」というフレームワークのもと、輸出と国内投資を増加させるビジネス活動を優先して行っている。
- 6つの公式姉妹都市、天津、大阪、テッサロニキ、ボストン、ミラノおよびサンクトペテルブルクと、長年にわたる関係を継続しており、天津に関しては、現地にメルボルン市事務所を置いており、メルボルン企業の中国市場への進出サポートを行っている。
- 近年急成長をしている ASEAN 地域に注目しており、以下の優先度の高い4産業に集中することで、メルボルンから ASEAN 地域への物とサービスの輸出を促すと考えている。
  - ・ 持続可能な都市開発およびインフラストラクチャー
  - ・ クリーン技術（水、グリーンビルディングや炭素市場サービスなど）
  - ・ 生命科学およびバイオテクノロジー
  - ・ 公共部門における能力形成および専門性開発
- 国際的ネットワークを推進する活動として、中国と日本に2年に一度の経済ミッション団を派遣しており、今年にはメルボルン企業15社がそれぞれのミッションに参加し、日本では「メディカルジャパン」において、メルボルン市の研究開発や健康サービスを紹介した。
- メルボルン企業が有する専門技術を紹介するために、6年前に「メルボルン周知ウィーク」を制定し、多くの学問領域にわたる分野横断的な催しを行ってきた。
- メルボルン市は1996年以降、革新性や創造性でメルボルンの評判を高めうる企業など、約350社以上の企業に対して、760万ドルの小企業助成金を交付してきており、特に、革新的技術を有するが、資本的に乏しい小規模事業主20社が共同で作業できる施設「York Butter Factory」に対し3万ドルの助成金を交付し、海外企業との新たなビジネス展開を支援している。
- ビジネスだけでなく、教育や文化、観光を宣伝するため、観光事業、そのたプロモーションに4000万ドル以上を投資し、市を活性化する機会の創出や地域との交流を加速している。
- メルボルン市はビジネスパートナー都市とのつながりを高く評価しており、都



市間の発展と繁栄が続くように、今後も協働し続けたいと考えている。

発言者：天津市商務委員会 副主任 マオ・ジンソン 氏

- 天津市の強みは、新幹線で 30 分の距離にある北京を含む人口 3,700 万人の巨大経済圏にあり、製造業と研究機関、北方地域の輸送経由地、金融開発の実演地点としての機能を有するところであり、開放政策の実施以降、高い経済成長を遂げてきた。
- 航空、自動車、バイオ・医療、新素材、石油化学、情報通信、新エネルギー、衣料（軽工業）8 つの基幹産業があり、26,000 社以上の外国企業が立地、1,572 億ドルもの投資実績がある。
- 中小企業のビジネスに目を向けると、天津市の GDP の 55%、税収の 68%、輸出総額の 27%、労働総人口の 85%が中小企業によるものであり、天津の産業活性化、高機能化には欠かせない存在となっている。
- 中央政府と地方政府には、起業家の能力形成のために、技術革新、研究開発を支援する組織がいくつか設置されており、新技術の開発に積極的な企業には常に事業をやりやすい環境を提供している。
- 一帯一路構想（One Belt and One Road Initiative）、自由貿易開発特区、国立技術革新デモンストレーション地区など整備し、世界中から企業が天津、北京、含む河北省に集まり、様々な新しい技術、施設を活用していただき、天津市場にアクセスできるよう支援を行うことが天津市の役割であり、質問や要望があればいつでも天津市商務委員会に連絡をいただきたい。



## 併催イベント

### 【BPC ウェルカムレセプション】

BPC ラウンドテーブルの前日 15 日（木）の夕刻には、ホーチミン市人民委員会の主催により「BPC ウェルカムレセプション」が開催され、ホーチミン市人民委員会関係者、関連団体関係者、BPC ラウンドテーブル参加者、大阪市長団、大阪経済ミッション団など約 130 名が出席し、情報交換など活発な交流が行われました。

題 名	BPC ウェルカムレセプション
開催日時	2016 年 9 月 6 日（火）18：30～20：30
会 場	REX Hotel Saigon（レックスホテル サイゴン）1 階 宴会場 Sunflower Ballroom
主 催	ホーチミン市人民委員会
出席者	約 130 名 ホーチミン市人民委員会・関連団体関係者、BPC ラウンドテーブル参加者、大阪市長団、大阪経済ミッション団など
会場風景	

### 【ホーチミン市投資・貿易セミナー】

7 日（水）午前中には、ホーチミン市貿易投資促進センター（ITPC）の主催により、「ホーチミン市投資・貿易セミナー」が開催され、同市の各政策担当者よりホーチミン市のビジネス概況や貿易・投資環境についてのプレゼンテーションが行われたのちに、現在開発ラッシュとなっている同市の都市インフラ（メトロ、モノレール、水道等）やハイテク産業及び IT 産業に特化した工業団地の今後の展開に関する説明や BPC 各都市への事業協力要請があり、セミナー参加者の間で活発な意見交換が行われました。

題 名	ホーチミン市投資・貿易セミナー
開催日時	2016 年 9 月 7 日（水）9：30～11：30
会 場	REX Hotel Saigon（レックスホテル サイゴン）東塔 2 階 Conference Hall
主 催	ホーチミン市貿易投資促進センター（ITPC）
プログラム	● ホーチミン市貿易投資促進センター ホア局長による開会挨拶 ● 大阪市経済戦略局 井上局長による挨拶 ● ビデオクリップによるホーチミン市の観光案内（ホーチミン市観光局）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 投資誘致に係るホーチミン市各部局の取り組み紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市鉄道管理局による鉄道プロジェクトの紹介</li> <li>・サイゴンハイテクパークによるプロジェクト紹介</li> <li>・クアンチュン・ソフトウェアシティ（QTSC）による情報通信プロジェクトの紹介</li> <li>・交通局による交通プロジェクトの紹介</li> </ul> </li> <li>● 質疑応答</li> </ul>
出席者	<p>約 100 名</p> <p>ホーチミン市人民委員会・関連団体関係者、BPC ラウンドテーブル参加者など</p>
プレゼン内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市鉄道管理局による鉄道プロジェクト <p>ホーチミン市人民委員会は、政府開発援助（ODA）による都市鉄道(メトロとモノレール)の路線延伸プロジェクトを進めており、メトロ 1 号線は日本（JICA）の援助で建設中、また、メトロ 3a 号線第 1 期(ベンタイン～ミエンタイバスターミナル間)の建設案件においても同じく日本の援助を取り付けており、現在ホーチミン市では市内を繋ぐ鉄道プロジェクトが急ピッチで進められている。</p> </li> <li>● サイゴンハイテクパークによるプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2002 年に設立されたサイゴンハイテクパークはベトナム政府が設立した 3 つのハイテクパークのうちの一つで、総面積は 913 ヘクタール、2 つのフェーズ（第一期：300 ヘクタール、第二期：613 ヘクタール）に分かれ、ハイテク製造エリア、ハイテクサービスエリア、住居エリア、物流エリア、研究開発エリアなどを置き、技術・経済革新を推進する高度技術集積都市として開発が進められている。</li> <li>・ その内、93 ヘクタールを占めるサイエンスゾーンでは（1）マイクロエレクトロニクス、情報通信、（2）精密機器、自動化（3）薬及び環境向けのバイオテクノロジー、（4）新材料、ナノ技術及び新エネルギーの分野を重点分野として位置づけている。</li> <li>・ 補助金や税制優遇などのインセンティブ、優れたインフラ設備を整備し、これまで 101 社を誘致、投資総額は USD5.6 billion、労働者数 28,000 人のほり、インテル、サムソン、シュナイダー、Nidec, SANOFI、マイクロソフトなど大手国際企業も多く入居している。</li> </ul> </li> <li>● クアンチュン・ソフトウェアシティ（QTSC）によるプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約 43 ヘクタールの広大なスペースには、外国企業を含む 135 社の IT 関連サービス企業が入居し、代表的な企業として、HP, IBM, TUV Rheinland, Globalcybersoft, GHP Far East, Digi-texx, Luxsoft などがあり、日本企業も 14 社が入居している。</li> <li>・ ロケーション、設備・サービス、インフラ、優遇政策、人材、ICT コミュニティにおける優位性を活かしながら、（1）ソフトウェア開発、（2）データセンター、インキュベーションセンター、（3）ソフトウェアアウトソーシング</li> </ul> </li> </ul>

(BPO)、(4) ソフトウェアアウトソーシング開発、(5) IT トレーニング、研究開発、(6) 銀行、保健、投資基金を投資対象分野として誘致活動を進めている。

- ・今後 5 年間の方向性としてホーチミン市と他の地方を結び、QTSC をモデルとした施設の拡大を図る「QTSC チェーン」構想を掲げており、Quang Trung ソフトウェアシティ 2 の建設プロジェクト、ダラットプロジェクト、ベトナム国家大学ホーチミン市校 IT パークプロジェクトなど、6 つのプロジェクトの推進に動いている。

●交通局による交通プロジェクト

- ・ホーチミン市は 2016～2020 年にかけての渋滞緩和のための輸送インフラの開発案を打ち出してきているが、政府開発援助の減少、財政難、交通インフラシステムの同期化の需要が出てきている中で、様々なセクターにおける資本誘致に注力している。
- ・投資プロジェクトは (1) BOO (Build Own Operate=建設・運営・所有)、(2) BOT (Build Operate Transfer=建設・運営・移転)、(3) BTO (Build Transfer Operate=建設・移転・運営)、(4) BT (Build Transfer=建設・移転) の 4 つの形式を取っている。
- ・2016～2020 年、それ以降数年に渡っての都市交通の開発を考えると、輸送部門だけでなく、排水、給水、信号制御など、都市インフラへの投資が必要であるため、VND200,000billion の資本で 60 もの都市開発プロジェクトを実施する必要がある。
- ・現状、高速道路、2 つの鉄道路線、25 の橋梁、近隣地区へと繋がる道路やトンネル建築を進め、都市部の交通インフラの向上に努めている。
- ・また、大量で効率的な輸送・交通インフラ整備の推進を早めるため、港湾、空港、そして鉄道システムとも繋ぎ合わせつつ開発を進め、また、地下駐車場、商品物流拠点、バスターミナル、水路の増改築なども併せて進めている。

会場風景



ITPC ホア局長

### 【BPC 昼食交流会】

7日(水)にはホーチミン市人民委員会の主催により、BPC ラウンドテーブル参加者、大阪経済ミッション団と現地ベトナム企業等との交流を目的にBPC 昼食交流会が開催されました。

題名	BPC 昼食交流会
開催日時	2016年9月7日(水) 9:30~11:30
会場	REX Hotel Saigon (レックスホテル サイゴン) 5階 ホアマイ レストラン
主催	ホーチミン市人民委員会
出席者	約130名 ホーチミン市人民委員会・関連団体関係者、BPC ラウンドテーブル参加者、大阪市長団、大阪経済ミッション団、メルボルン企業ミッション団など
会場風景	

### 【個別商談会】

ラウンドテーブルが開催された同ホテルの別会場にて、ベトナムビジネスミッションに参加した在阪企業(15社)とベトナム現地企業との個別商談会を開催しました。

(商談件数: 127件)

また、同時にメルボルン(オーストラリア)からの経済ミッション団もベトナム現地企業と商談を実施し、会場は新たなビジネスを探す多くの企業の熱気に溢れ、大盛況の商談会となりました。

題名	個別商談会
開催日時	2016年9月7日(水) 13:30~17:00
会場	REX Hotel Saigon (レックスホテル サイゴン) 東塔2階 Conference Hall
主催	大阪市、(一財)大阪国際経済振興センター
協力	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC) ベトナム商工会議所(VCCI) ホーチミン日本商工会(JBAH)



**【BPC ラウンドテーブル ネットワーキングレセプション】**

大阪市は BPC ランドテーブル開催日の夕刻に「BPC ランドテーブル ネットワーキングレセプション」を開催し、ラウンドテーブル参加者をはじめ、ホーチミン市人民委員会・関連団体関係者、大阪、メルボルンからの経済ミッション団、ベトナム現地企業・現地在外公館・経済団体関係者など 110 名を招待し、出席者との情報交換を図り、親睦交流を深めました。

題 名	BPC ラウンドテーブル ネットワーキングレセプション
開催日時	2016 年 9 月 7 日 (水) 18 : 00 ~ 20 : 00
会 場	Caravelle SAIGON Hotel (カラベル サイゴン ホテル) 3 階 Opera I, II, III
主 催	大阪市、大阪ビジネスパートナー都市交流協議会

